



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 29 年 8 月 26 日(土)

国道 7 号能代バイパス

木製防護柵塗装イベント開催 編

国道 7 号能代バイパスの能代市中心部への玄関口である能代港入口交差点～豊祥岱交差点区間の道路沿いに設置されている木製防護柵。塗装もだいが色あせてきたこの防護柵を、ボランティアの手できれいに塗り替える塗装イベントを今回初の試みで開催しました。

当初は 6 月上旬に開催予定であったイベントですが、雨天中止となっており、このほど再開催。朝方には雨が降ったりと午後のイベント時の天候が心配されましたが、関係者の思いが届いたのか、午後には暑いくらいの塗装日和となりました。

親子参加などのボランティアの皆さんが 13 時半の受付開始に合わせて能代市南陽崎の黒松ハウス前に集まり、14 時から開会式を行いました。開会式では、NW 能登会長の挨拶の後、道路管理者である能代河川国道事務所坂事務所長から挨拶をいただき、塗装作業の注意事項を確認して、記念写真を撮影。その後は、受け持ちの防護柵塗装箇所へ移動し、早速作業を開始しました。

作業は防護柵についている汚れを落とすところから。研磨紙で軽く表面を磨いて汚れを落としウエスで拭き取ることで塗料のつきもよくなるとか。その後は、暑い中、ひたすらペンキ塗り。受け持ちの 10～14m ほどの塗装箇所を塗り残しがないように道路側、歩道側と安全に気を配りながら、時折、熱中症対策の水分補給をしながら、親子で、仲間と一緒に楽しみながら作業する姿が見られました。通行車両からの視線を感じながら、約 1 時間ほどの作業で、塗装箇所の木製防護柵が見違えるほどきれいに生まれ変わりました。

作業後のアンケートでは、「貴重な経験となった」「おもしろかった」「また参加したい」などのうれしい意見を多数いただきました。参加記念の名前入り秋田杉コースターがプレゼントされ、良い記念になったことと思います。

この塗装イベントにより、防護柵がきれいになり、防腐効果などにより防護柵の耐久性が向上しました。

ボランティアの皆さん、大変お疲れさまでした。

今回のイベント実績が PR となり、来年度以降の木製防護柵塗装イベントが活気づくことを期待しています。

文： 児玉 優子



受付で塗装道具一式を受け取り、開会式の開始を待つボランティア参加の皆さん。「日本風景街道 のしろ白神のみち」の幟旗がそよいで皆さんをお出迎え。



黒松ハウス前においてイベントに集まってくださった皆さんで記念撮影。いざ、ペンキ塗りに出発！！



親子で、仲間と丁寧ペンキ塗りする姿が見られました。ペンキを塗り替えた柵はとてきれいに！ 耐久性もアップ！



参加記念 名前入り秋田杉コースター